

藝術学関連学会連合 会員学会会員御中

第13回公開シンポジウムのテーマ及び趣意文を決定いたしました。テーマは「藝術と教養—藝術は教養たりえるのか?」です。

開催日は2018年6月2日(土)、会場は慶応義塾大学教養研究センターにてお世話頂く関係で、同センターの共催とさせて頂ければと存じます。

各学会におかれましてはパネリスト、あるいはコメンテーターの候補をご推薦いただければ幸いです。

今回「教養」という本来多岐にわたる内容を扱いますが、限られた時間内で議論が実のあるものになるよう、あらかじめパネリストによる発表を少数に絞り込みたく思います。そのうえ芸術や「教養」に通じているコメンテーター若干名による感想、意見表明、そして全体による質疑応答を図りたく思います。なおパネリストとしてご推薦いただきました候補者にコメンテーターをお願いする場合もあろうかと思われませんが、ご理解賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

- ・締切：2018年2月末日
- ・提出先：事務局長 小林幸子 宛 ([geikanren\\_office@geiren.org](mailto:geikanren_office@geiren.org))
- ・提出いただく内容：候補者の名前、現職、メールアドレス、(パネリストの場合)発表テーマ及び要旨(200字程度)、(コメンテーターの場合)「藝術と教養」へのヴィジョン(300字程度)

なお、パネリスト並びにコメンテーターの決定は3月10日頃を予定しております。

以上、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第13回公開シンポジウムオーガナイザー

永田靖(日本演劇学会)、藤田治彦(意匠学会)、小林昭世(日本デザイン学会)

小菅隼人(開催校、慶応義塾大学、日本演劇学会)

共催；慶応義塾大学教養研究センター